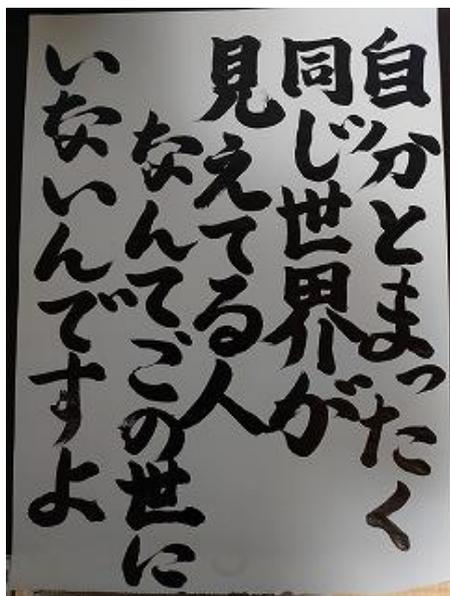


慶念寺々報

つなごがい

慶念寺の掲示板

毎月はりかえていく慶念寺の掲示板の言葉。ブログをご覧の方は、毎月解説を書いておられますので、ご覧いただいているかと存じます。しかし、インターネットをなさらない方もいらっしゃると思いますので、毎月の寺報に慶念寺の掲示板の言葉について書いていきたいと考えています。今回は第二弾です。



「自分とまったく同じ世界が見えてる。なんでも、この世にいないんですよ。」

(「ブルーピリオド」佐伯先生)

十月の掲示はマンガから選びました。

この言葉は、主人公が高校時代の恩師のもと

で、絵画教室の先生としてアルバイトをすることになった際に、とある出来事が起こり、悩む主人公が恩師から言われた一言です。

この場面は視覚に関してのことなのですが、この言葉を見た時に、「まさに私たちのもの見方だな」そう思いました。

先月の掲示の時にも書きましたが、物の見え方というのは、何も視覚に限った話ではありません。私達は、自分達一人ひとりがそれぞれに違ったモノサシを持っています。どれだけ同じ時を過ごし、どれだけ同じものを見てきたとしても、考え方、見え方というものが違います。そのような中で、自分の見えている通りに相手も見えていると思いついて、互いに傷つけあうこともあるのが私たちなのです。



虫が大好きな人もいれば見るのも嫌だという人もいます。子どもの声にぎやかでいいと思う人もいれば、単純に騒音だと思ってしまうのです。そしてそれは、何をきっかけで変わるのかはわかりません。虫に興味を持つ人と過ごすうちに、虫が好きになることもあるかもしれません。もともと子どもが好きだけれど、自分に余裕のない時には、無邪気な声がかえって気に障ることもあるでしょう。良い悪いも状況によって移り変わるのが私たちなのです。その他にも「この人はいいけど、あの人はダ

メ」というような自分の好みで線引きをしていくこともあるのではないのでしょうか。何も、それがダメだと、全部やめろと言っているわけではありません。しかし、自分がそうであるように、他の誰かもそうであるように、むしろ他の誰かがそうであるように、自分がそうあるんです。

自分の物の見え方は、決して平等になることはありません。だからこそ、自分の見えているものが相手にはどう見えているのだろうか。そういった視点を持つことは、人とふれあっていくうえでとても大切なことです。身近な人だけでなく、むしろ苦手な人、あまり関わりたくない人に対して、よりその視点が大切になる。そう思います。喧嘩した時、いがみ合う時、そのことを考えるだけでも、自分の物の見え方が広がります。でも、いくら広げても、自分の見え方は自分には自分にはかわりません。相手の見え方は相手にしかわかりません。わかったつもりが一番危険です。そのことを心に止めおきながら人と触れ合うことが大切なのだと思います。相手と全く同じ世界が見えているわけではないからこそ、自分と全く同じ世界を見ている人もいない。完全には分かり合うことのできない私達だからこそ、分かり合う努力が出来る。通じ合った時の感動がある。そのことをあらためて感じさせていただきました。そして、このように決して平等に物事を見る事が出来ない私達だからこそ、平等



平等に物事を見る事が出来ない私達だからこそ、平等

の眼差しで包んでくださる阿弥陀様がいらっしやる。そのことを、あらためて味わっていききたい。そう思います。

宗祖報恩講ならびに 開所記念法要を行います

慶念寺は、二〇一六年の十一月に中野島の地に開所をいたしました。それを記念しまして、毎年十一月の法話会は、浄土真宗で最も大切にされている「宗祖報恩講」と開所記念法要を併修しております。

「宗祖報恩講」とは、浄土真宗をお開きくだされたお方。親鸞聖人のご命日を機縁とした法要で、京都にある本山「本願寺」では一月九日から、親鸞聖人の祥月命日である一月十六日にかけて行われる法要です。



一般寺院では、本山の報恩講から日をずらして行うことが通例となっております。

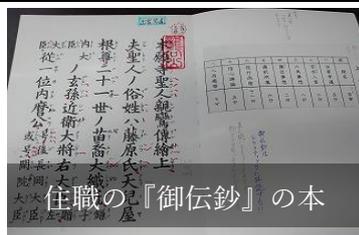
今年も、昨年同様オンラインのみでの参拝となりますが、今までの月例の法話会とは趣向を変えて行ないます。

法要は十一月十三日(土) 一〇時からと一四時からの二座お勤めいたします。

午前の法要の後に、住職と数人のご講師の先生より法話動画を配信いたします。現在予定をされているのは、横浜の海老名布教所自然寺(じねんじ)の村上先生。そして、静岡県伊東市にある寶専寺(ほうせんじ)の遠山先生。そして、公開講座でおなじみの築地に

ある法重寺(ほうじゅうじ)の南條先生他、数名のご講師をお呼びするという超豪華仕様でお送りいたします。ご法話は、事前に収録したものを配信いたします。複数のご講師のご法話が一度にお聴聞できる機会はそうありませんので、是非お参りください。

そして、法話の後は、浄土真宗第三代目の宗主である覚如(かくによ)上人



が書いた親鸞聖人の伝記『御伝鈔(ごでんしょう)』を住職が拝読したものを配信いたします。本堂は本堂にてライブで聞いていただきたいのですが、画面越しになりますので、わかりやすく本文と、画像付きの物でお送りいたします。

そして、午後は二時から御法要。その後に浄土真宗第八代目の宗主の蓮如(れんによ)上人のしたためられました親鸞聖人のご生涯『御俗姓(ごぞくしょう)』を拝読したものを送りいたします。この度の御法要は、一週間から一か月ほど残したのち配信を終了する予定であります。(終了後は再編集したものを公開いたします)

限定公開の為、検索をしても表示されません。参拝は、今号最終ページのお知らせ、もしくは、慶念寺HPより、お参りください。

おてらおやつクラブへの 寄付をいたします

慶念寺では、法要の際にお供えいただいた

お供物を、「おてらおやつクラブ」を通して、子どもたちを支援する団体に寄付をしております。こちらは、まとまった数が必要ですので、随時受付ではなく、法要の際にお願いし、お供えいただいております。

この度、宗祖報恩講ならびに開所記念法要に際しまして、「おてらおやつクラブ」への寄付を予定しております。



慶念寺で用意したお供物に加えて、皆様にもお供えを頂きますと、有難く存じます。

お供えはお菓子やお米などの日持ちのする食品をはじめ、筆記用具や衛生用品もお供えしたのち、支援先に送ります。

お供えの方法ですが、事前に慶念寺までお持ちいただくか、慶念寺まで着払いにてお送りください。法要時にお供えをしてお参りいたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。

築地本願寺の報恩講に 出仕いたします

十一月十一日から十六日にかけて、築地本願寺でも報恩講が勤まります。住職はその十五日と十六日の法要に演奏員(雅楽を演奏する僧侶)として出仕してまいります。本堂での参拝も可能ですし、ライブ配信もございまして、築地本願寺のYouTubeチャンネルより、お参りください。

発送作業手伝いをお願い

十一月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただけの方を募集いたします。

慶念寺寺報案内発送作業

日時：令和三年十一月二十六日（金）

十四時から

場所：慶念寺本堂

人数：最大三名

内容：寺報等の封筒詰め作業

密集を避けるために、募集人数を三名にしております。

なるべく短時間で終わる予定でおりますので、お手伝いいただける方は、電話やメールなどでご連絡ください。ご連絡、心よりお待ちしております。終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

お知恵をお貸しください

現在「慶念寺でできる楽しいこと」を模索中です。「こんなことどう？」など、ありましたらお知恵をお貸しください。

前回の寺報をみて「こんなことが出来るよ！」とご連絡をいただきました。早速、「楽しいこと」実現に向けて準備中です。引き続きアイデアを募集しておりますので、「こんなことしたい」など、是非ともお気軽に仰ってください。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。まず、日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまっている便せんやハガキ、切手などがありませんでしたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。手紙でのやり取りは、待つ時間も含めてとても楽しいひと時です。日常の事、ご相談、近況報告などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会 十一月の法話会は

十一月十三日（土）十時・十四時からオンラインにて

宗祖報恩講ならびに開所記念法要を行います。次のページに詳しく記載しておりますので、ぜひお参りください。

編集後記

本文中にも書きましたが、前回の寺報で「お知恵をお貸しください」のコーナーを見て連絡を頂きました。なんと、腹話術。近所に我が家の子ども達と同年代の子が多く住んでいるので、子ども向けの行事を行うおうとあれこれ画策しております。子ども達の笑顔を想像するだけで、今から楽しくなってきました。

さて、築地本願寺の報恩講に向けての準備も始まってきました。雅楽のお稽古です。隔週で閉門後の築地本願寺にて、お稽古を行っているのですが、毎回欠かさず抗原検査をしております。結果が出るまでドキドキしながら待機。陰性になって一安心。お稽古の緊張とは別の緊張があります。でも、楽器を演奏するのは一人よりみんなで演奏する方が楽しいので、隔週のお稽古が楽しみです。是非、築地本願寺の報恩講もお参りください！



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード